

### 2011年スケジュール

2011年6月16、17日

厚生労働省全国油症治療研究会議

ホテルレガロ福岡〔福岡県福岡市〕に於いて開かれました。

全国油症一斉検診

下記の11班により年に1回実施しています。  
詳細は、各自治体にお問い合わせください。

### お知らせ

—油症リーフレットについて—

「油症の現況と治療の手引き2011」

このたび、患者さまと医療機関向けに油症の現況と治療についてのリーフレット（改訂版）を作成いたしました。リーフレットには、ダイオキシン類の健康被害を少しでも抑えるために、「**生活の指針**」も掲載いたしました。皆様方の日頃の生活のお役にたてれば幸いです。

リーフレットは、担当自治体より送付されることになっております。必要に応じて、かかりつけの先生等にお渡しください。

ご相談事やリーフレットがさらに必要な場合は、九州大学病院油症ダイオキシン研究診療センター  
TEL 092-642-5211、FAX 092-642-5201  
までご連絡ください。

### 昨年の研究成果

2011年6月16、17日に全国油症研究会議が開催されました。多数の基礎的・臨床的研究の報告が行われました。その概要をご紹介します。

### 平成23年度全国油症治療研究会議より 〔その1〕

（油症検診受診者のまとめ）

福岡県保健環境研究所の梶原先生は平成22年度全国油症一斉検診のPCDF等測定者は、認定患者が230人、未認定者が208人の計438人であったこと、また油症認定患者649名の血液中ダイオキシン類濃度の特徴を解析したところ油症に特徴的なダイオキシン類異性体濃度は女性の方が男性より2倍程度高いことが分かったことを報告されました。高尾先生は平成21年度油症検診受診者のまとめについて報告されました。受診者は、認定が359人、未認定が188人の計547人。内科所見としては、心電図（30.2%）、胸部レ線（22.3%）、栄養（21.8%）、四肢けん反射（19.9%）、感覚障害（15.3%）の異常所見が受診者の10%を越えていました。皮膚科・眼科の他覚所見はすべての項目において10%未満で、歯科は、辺縁性歯周炎（40.7%）の有所見率が高いという結果でした。

裏面もお読みください。→

### 平成23年度自治体連絡先

**福岡県班**（福岡県、大分県、宮崎県）  
福岡県保健医療介護部保健衛生課食品衛生係  
TEL：092-643-3280

**長崎県班**（長崎県、佐賀県、熊本県）  
長崎県県民生活部生活衛生課食品乳肉衛生班  
TEL：095-895-2364

**関東以北班**（東京都、川崎市、埼玉県、さいたま市、茨城県、横浜市、神奈川県、栃木県）  
茨城県保健福祉部生活衛生課食の安全対策室  
TEL：029-301-3424

**千葉県班**（千葉県）  
千葉県健康福祉部衛生指導課食品安全対策室  
TEL：043-223-2626

**愛知県班**（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）  
愛知県健康福祉部健康担当局生活衛生課食品安全対策グループ  
TEL：052-954-6297

**大阪府班**（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）  
大阪府健康医療部食の安全推進課安全推進グループ  
TEL：06-6944-6703

**島根県班**（島根県、鳥取県）  
島根県健康福祉部薬事衛生課食品衛生グループ  
TEL：0852-22-5264

**広島県班**（広島県、岡山県）  
広島県健康福祉局食品衛生課  
TEL：082-513-3104

**山口県班**（山口県）  
山口県環境生活部生活衛生課食の安心・安全推進班  
TEL：083-933-2974

**高知県班**（愛媛県、高知県、香川県）  
高知県健康政策部健康対策課  
TEL：088-823-9674

**鹿児島県班**（鹿児島県、沖縄県）  
鹿児島県保健福祉部生活衛生課食品衛生係  
TEL：099-286-2786

## (油症患者さんにおける症状とダイオキシンとの関連などについての報告)

東京大学の松本先生は平成20年度に施行された油症認定患者を対象としたアンケート調査結果と、油症検診で得られた血中2,3,4,7,8-PeCDF濃度との関連を解析されました。その結果、血中PeCDF濃度と関連が強かった症状は、歯肉の色素沈着、腺板腺からのチーズ状分泌物、頭痛でした。これらは今までに関連が強いと報告されている症状が中心でした。

九州大学病院油症センターの内先生は、2001-2009年度に福岡県油症検診を受診し、血中ダイオキシン類濃度を測定した認定者232名(男性101名、女性131名)、未認定者96名(男性31名、女性65名)について、血清アディポネクチン・レプチン濃度を測定し、レプチン濃度が認定者で有意に低いものの、いずれも血中ダイオキシン類濃度との相関を認めなかったことを示されました。

長崎大学皮膚科の清水先生は、酸化ストレスで影響を受ける、血清中の温熱蛋白質であるヒートショックプロテインを測定しましたが、年齢をあわせた油症認定患者21名、健常人31名のとの間には有意差は認めませんでした。塚塚先生は炎症の際に関与する血清中の炎症性サイトカインTNF- $\alpha$ を測定し、認定者では健常人と比較すると有意に上昇していることを発表されました。

長崎大学内科の塚本先生は平成19年から21年度までの長崎県油症検診の受診者について、PCB、PCQおよび2,3,4,7,8-PeCDFの濃度とHbA1c値について統計的解析を行い、HbA1c(%)とPCB(ppb)、PCQ(ppb)および2,3,4,7,8-PeCDF(pg/g lipid)に相関関係が認められなかったこと、また認定者と未認定者間のHbA1c(%)値に有意差は認められなかったことを発表されました。

九州大学整形外科の福士先生は、2007-2009年度全国油症一斉検診の受診者569名(認定者は438名、未認定者は131名)において骨密度を測定し、ダイオキシン類濃度との関連について検討しました。結果についてはさらに検討予定ですが、骨粗鬆症と判定された女性のうち、少なくとも32名(31.1%)は骨粗鬆症の治療歴がないことがわかりました。骨密度検査の判定結果により、治療を受けていただくようさらにお伝えする必要があると御報告されました。

また長崎大学の川崎先生は、2007-2010年の長崎県油症検診者のべ1,046名のうち、骨密度・代謝・身体計測値に関連する項目が測定できた302名(男性:148人、女性:154人)を対象とし、各測定値の最近値を用いて発生当時の年齢によるPCBと骨密度、身長との関連を検討しましたが、認定者と未認定者において、発生当時の年齢が0-18歳と19歳以上の群では、現在の平均身長に統計的有意差はみられませんでした。また1995-2010年(15年間)の長崎県油症検診者のうち2回以上の比較可能な測定値・検査値がある199名(男

性:86人、女性:113人)を対象とし身長減少とPCB・骨密度の関連を検討し、身長と骨密度の検討からPCBの骨への影響は否定できないが、今後年齢や生活習慣による影響を含めた検討が必要であるとの報告をされました。

## (ダイオキシンが生体に及ぼす影響を調べる研究に関する報告)

九州大学大学院医学研究院附属胸部疾患研究施設濱田直樹先生はダイオキシン類により気道症状を引き起こされる機序を解明する研究のために、動物実験モデルを作成したことを報告されました。気道症状を引き起こす機序が解れば、油症患者の咳、痰等の呼吸器症状の原因解明に役立つ可能性があります。

熊本保健科学大学の吉村恵先生は、油症患者さんの訴えの一つである手足の痺れや感覚異常の解明のため、慢性にダイオキシンを投与したラットの末梢神経の伝導速度および刺激閾値について正常ラットと比較検討されました。その結果、触覚や振動覚を伝える太い線維の伝導速度が遅くなる傾向が見られたこと、また一方、痛みなどを伝える細いC線維にはハッキリした差は見られなかったことを報告されました。今後患者さんの感覚異常の解明につながる可能性があります。

中村学園大学栄養科学部の太田千穂先生(古賀信幸研究室)は油症患者さんの血中に多いPCB代謝物の1つである4-hydroxy-PCB120が、PCB120から生成されるかどうかについてラットで調べられ、これまでに報告されているPCB118からだけではなく、PCB120からもラット肝臓の酵素(チトクロムP450)により生成されることを明らかにされました。

九州大学薬学部の石井先生は、がん抑制作用が期待される、機能がまだ解明されていないタンパク質の一つ、セレン結合性タンパク質1がダイオキシンによりマウスの肝臓で発現が誘導されることを報告されました。武田先生は、ダイオキシンの一つであるTCDDに曝露されたラットの糞尿と肝臓におけるたんぱく質の変動を網羅的に解析されました。その結果、多くの脂肪酸が変動すること、また炎症に携わるロイコトリエンB4という物質が増加することにより、肝障害が増悪する可能性があることを報告されました。

## (油症患者さんに対する治療に関する報告)

九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターの徳永先生は、2007年4月から2009年10月までに実施した油症に対するコレステミド(コレバイン)内服療法について、現在までにデータが得られた37名についての中間報告をされました。残る2人の血中ダイオキシン濃度の測定が終了した後で詳細につき検討予定です。